

古塩まさよし

後援会だより

Vol. 2 2018年 新春号

〒252-1124 綾瀬市吉岡 3344
http://www.m-koshio-ayase.jp
Email:kik.koshio124@jcom.zaq.ne.jp



学び続ける

—人生100年時代—

古塩 政由

明けましておめでとございませう

市長に就任して2回目の新年を迎えました。この間市民の皆様からの期待の大きさ、使命と責任の重さを改めて実感しています。今年も「活力と魅力に満ちた綾瀬」の実現に向けて頑張つてまいりますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

にまで影響するとの研究が紹介され、幼児教育の重要性が指摘されています。

幼児期では、この非認知能力の育成を行い、学校では読み書き、計算などの知識・認知能力を蓄積して基礎基本を定着させる。これが「学び続ける」ための力の源泉です。それには幼児教育から学校教育へと繋がるしっかりとした教育の軸を造る必要があると考えます。

元気高齢者を増やす

一方で、高齢者には、一人でも多く支える側に回っていただきたい。今後、高齢者人口は増えるが総人口は減っていく。高齢者を現役世代が支える現在の仕組みを続けるなら、若い人の負担が大きくなって支え切れません。70代、80代の高齢者が元気に仕事や社会活動などを行い、支える側に回れば負担は和らぎます。市では昨年、元気な高齢

者が比較的多い地区で、元気の要因を探る調査を行いました。この調査分析の結果を市内各地に広げ、高齢者が元気で活躍できる環境を創っていくつもりです。人生が短かった時代は「教育↓仕事↓引退」という生き方で問題ありませんでしたが、人生100年時代となれば、「仕事」のステージを長くせざるを得ません。高齢になっても活躍し続けるには、長年の経験だけでなく、新たな知識を得るための学び直しが必要です。人生が長くなるほど、学び続ける期間も長くなります。

「富嶽三十六景」で有名な江戸時代後期の絵師、葛飾北斎は、75歳でまだまだ自分の絵は進歩し続けると宣言し、90歳まで生きた。臨終の床では「あと5年あれば、真の絵師となったものを」と言い遺したという。天才絵師にとっては、学び続けても、自分の才能を出し切るには、90年の人生では短かすぎたようです。

少子高齢化と人口減少社会、そして長寿社会の到来は、地域社会のあり方を大きく変えます。社会の構成員が少なくなる中で活力を維持していくには、誰もが、その持てる能力を十分に発揮することが必要です。

学び続ける能力を身につける

子どもたちには、社会が求める能力を持った人材と

して育ってもらいたい。知識が社会の重要な資源となり、IT（情報技術）やAI（人工知能）が進展した今、社会の変化に応じて常に新しい知識を仕入れなければなりません。学校だけでなく卒業した後も、生涯にわたって「学び続ける」必要があります。

特に最近、幼児教育における「意欲」「社会性」「我慢」といった「非認知能力」の育成が、将来の学力や仕事

新年の御挨拶

…小器凡器の独り言…



古塩まさよし後援会

会長 近藤 亘

明けましておめでとうございませう。皆様には、ご家族ともども健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年10月の衆議院議員選挙では、自由民主党が圧勝しました。外国の新聞には「世界はポピュリズムの波にのまれているが、日本は投票率が低いまま無党派層が動かず、ポピュリズムに流れていない」と皮肉な論者が載っていたとの報道がありました。また低投票率の中にあっても、若年層の自民党支持率が高かったとの調査結果が示されております。

一方、野党に関しては、民進党が事実上解体し、希望の党に合流、しかし、希望の党小池代表の排除の論

理、その結果の立憲民主党の結党など、野党の分散が選挙公示前に行われた。これでは、各党の政策も分からず、有権者の判断材料がないと同じであった。選挙の公示から投票日までが短く、2週間程度では政策論議を深めることはできない。普段から政策論議ができる環境へと公職選挙法を見直し、有権者の判断材料を多くする必要があると愚考する次第です。そうすれば、投票率もアップし、据え膳民主主義はもとより、シルバー民主主義とも言われなくなるのではないのでしょうか。終わりに本年も古塩まさよし後援会に対しまして、絶大なる御理解とご協力を心からお願い申し上げます。

趣味 彩歳



尾道 バッチャー祭り

私の写真物語

古塩 政由

私の写真との出会いは、40歳頃までにはさかのぼる。お寺と坂で有名な広島県尾道市で、カメラのみ。写真を撮り、尾道に送るラを持った私に撮影ポイントを親切に教えてくれた人に出会った。それをきっかけに、手紙のやり取りが始まり、「写真に興味があるなら、本格的にやってみないか。自分が40年間で得た写真のノウハウを、10年で伝えたい」と持ちかけられた。気軽に「お願いします」と返事をしたこと、私の挑戦がはじまった。それから「楽しさ」と「辛さ」

が同居した日々が続く。撮る写真、師の得意とするスナップと厳しいコメントが返ってくる。この繰り返しで20年近く続いた。厳しい指導の甲斐あって私の写真の腕は上がり、早いうちから写真展での入選、入賞を果たすことができた。とはいえ、師のノウハウを10年で習得するということ、私の目的は果たすべくもなく、私にはそんな才能はなかった。(次号に続く)

後援会 活動報告



◎古塩まさよし「市政報告会」開催

平成29年度古塩まさよし「市政報告会」が6月25日(日)綾瀬市オーエンス文化会館小ホールにおいて開催されました。



▲市政報告会

当日はあいにくの雨でしたが、240人もの方々に参加をいただきました。参加者は市政状況の説明に熱心に耳を傾け、その後の質疑も活発に行われました。

◎支部長会開催
支部長会が11月26日開かれ、1月21日開催予定の「古塩まさよし 新春の集い」開催準備等について話し合われました。

◎忘年会開催

11月26日に後援会主催で忘年会が開かれ、楽しい時間を過ごしました。